

カンサス州：小麦作柄と気象状況

2011年2月28日現在

概況 カンサス州の2011年2月の気象は、冬の気象と春の気象が混ざったような状態であった。州西部3地区では殆ど降雨（降雪）が無く乾燥気象であり、東部3地区では降雨と降雪が平年以上あった。1ヶ月の降水量の最も少なかった南西部で0.07インチ、最多の降水量は南東部で4.33インチを記録した。最高気温は80度Fを超えた観測所も有ったが、概ね70度台であった。但し、各地の一ヶ月の平均気温は平年を下回った。州東部ではTopsoilの土壌水分は過多の状態であったが、西部から中央部の小麦主産地区では土壌水分不足の状態であり、同時にSnow coverが貧弱な状態であった。これ等の地区の農家は冬小麦の作柄への影響を心配していた。2月28日現在の冬小麦の作柄は、土壌水分不足と貧弱なSnow coverが原因し1月末の状態より評価が落ちた。冬小麦のWind damageの状況は78%がNone、18%がLight、3%がModerate、Severは1%であった。Freeze damageは、75%がNone、Lightが17%、Moderateが7%、Severが1%であった。Freezing Damage及びWind damageが先月より多少増加した。

2011年2月28日現在：土壌水分（*）

		(%)	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	February		20	23	49	8
	January		24	35	40	1

2011年2月28日現在：冬小麦の作柄状況（*）

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
February	17	23	35	23	2
January	14	23	36	25	2
Last year	NA	NA	NA	NA	NA

(*)Source: National Agricultural Statistic Service, Kansas Field Office. Week means last week, year means last year, 5-Yr means average of 2006,2007,2008,2009 & 2010 crop years.

以上